



機同啄

令和6年度スローガン「挑み 鍛え 前へ」

わかまつはら
若松原中学校学校だより
第2号
令和7年5月16日
発行者 永井 高穂



上記QRコードより、「わかまつはら 若松原中学校」ホームページもご覧ください。

全校保護者会4/25

今年度初の全校保護者会を行いました。新クラスになって初めての授業参観ということで、全学年・全学級とも学級活動の授業を見ていただきました。また、本年度の学校経営や各学級担任からの一年間の学級経営の方針について説明しました。保護者の皆様には、お忙しい中、来校いただきありがとうございます。



1年生の学級活動

クラスごとにテーマを決めてソーシャルスキルを高めるための話し合い活動を行いました。



3年保護者会（修学旅行説明会）5/9

3年生の保護者会を実施しました。修学旅行の説明を中心に学習や生活、進路についての説明をしました。特に修学旅行については、シンボルマークとスローガンの表彰を実行委員長から行うとともに、実行委員から自分たちで話し合っで決めた持ち物や約束事などについての発表がありました。修学旅行は、1人の旅行ではなく、約200名もの団体旅行です。そして、集団行動の集大成です。安心・安全な旅行とするためにも、自分たちで決めた約束事に従い、若中プライドを見せてほしいと思います。



【お知らせ】令和7年度 教科書展示会の開催について

教科書展示会は、一般公開を通じて、地域住民等の多くの方々に認識の機会を提供し、教科書に対する関心を高めることを目的に毎年開催されています。

6月20日(金)～7月11日(金) 9:00～17:00 (平日)

会場：栃木県庁河内庁舎2F B棟研修室

避難訓練5/12

竜巻避難訓練を行いました。竜巻が発生した場合の避難の方法について確認しました。まずは事前指導としてTV放送により竜巻について正しい知識と、身を守る方法を学びました。その後、実際に教室で机を廊下側に移動して、机の下に頭を隠して机の脚を押さえたり、廊下で身を小さくして、頭と首を守る姿勢をとったりと安全確保の方法を体験しました。

また、緊急時の一斉下校の際の下校班の編成も行いました。下校が同じ方面、住所が近い生徒たちで24の班分けを行い、班長や、どこで解散するかを決めて実際に下校しました。



◇思春期の子供たちとの接し方◇

ニュースで毎日のように「中学生」という言葉を耳にする。中学生自身が犯罪を起こしたり、被害にあったりするだけでなく、事件が犯罪を起こした人の中学生の時の家庭環境や育てられ方に起因しているなど、中学生、思春期の子育ては本当に難しいと思います。そこで、思春期の子ども達との接し方について述べたいと思います。

思春期の子供たちに必要なことは、ジリツです。ジリツには、「自律」と「自立」の2つありますが、それらは持続的に何かをやり遂げる力であり、自分と向き合えるようになることです。生徒がしっかりと自分と向き合えるようになることは、自分を理解することです。そのために、普段の様々ななかかわりの中で、私たち大人は、次のことを教える必要があります。

- ① 自分には生きる価値がある。
- ② 人生は自分次第である。
- ③ 周囲と良い関係を持つために自分を表現する。
- ④ 自分をコントロールする。
- ⑤ 意識して自分で選択する。
- ⑥ 異質な物を受け入れる力をつける。

「中学生になったから・・・、もう中学生だから・・・、自立するんだから・・・。自分のことは自分でしなさい。」子供が中学生になると、早ければ小学生も高学年になると、親としてよく口にする言葉ではないでしょうか。しかしちょっと立ち止まって聞いてください。

そのための生きる力は、学校生活の中の集団生活を通してはもちろんのこと、家庭や地域の中においても、教えるべきことを教えられてのことです。教えるべきことを教え、自分で選択させ、自分で選択したことに責任が伴うことを学ばせる。集団の中で、自分を表現し、コントロールし、異質な物も受け入れる器を作り上げる。そのためには、大人の関わり・教えが不可欠であることを再確認してください。

現在の中学生は、集団生活や家族をはじめとした周囲の人々との様々な関わりが薄いと言われます。だからこそ、経験していないことは一つ一つ経験しながら学んでいく場を作っていきましょう。今、子供たちが苦しくなるのはある意味当たり前です。そこまでの成長をしていないのに、教えてもらっていないのに自分で判断してやりなさいと言われてしまうのですから。

今年は、子どもたちが様々な人と関われる場を多く設定していきますので、関わる私たち大人は時には言葉で、時には背中であげていきましょう。思春期とは、子どもたちが変化を遂げる時期です。私たち大人は、関わりの中から変化する子どもたちを支援していきましょう。